



▶不動院本堂

元文2年（1737）に再建されたとされています。5間四方重層の総檜造りで内外を丹塗りとし、要所に極彩色を施しています。壮麗な密教形式の建物です。（県指定文化財・昭和40年指定）

# 板橋不動尊を歩く

真言宗豊山派に属し、「板橋のお不動さん」として親しまれている不動院（板橋不動尊）には、多くの文化財があります。不動院は大同年間（806～809）に弘法大師によって開かれたと伝えられています。

今回みらいんぞうが訪れたのは、市内の板橋地区にある「不動院（板橋不動尊）」。

県内でも屈指の貴重な文化財を有する歴史ある寺院で、安産や子どもの成長安全祈願などのため、市内外から多くの参詣者が訪れます。

境内では、鮮やかな朱色の楼門が参詣者を出迎えます。どっしりとした風格の楼門をくぐると、正面には本堂、右

手に三重塔がそびえ立ち、厳かな雰囲気包みこまれます。荘厳なたたずまいの本堂には、国指定重要文化財である「木造不動明王及両童子立像」が安置されています。

また、板橋不動尊には桜が植えられており、春になると満開の花で華やかに彩られた境内の様子を楽しむことができます。



▶木造不動明王及両童子立像（国指定重要文化財・昭和25年指定）

▼不動院三重塔

安永4年（1775）に建立された、県内でも数少ない近世に築かれた貴重な塔です。高さ24mのこの塔にはたくさんの極彩色の装飾が施され、江戸時代後期の様をよく表しています。（県指定文化財・昭和35年指定）



▶不動院楼門

元禄13年（1700）に建立され、平成20年～23年に保存修理工事を行い、建立当時の姿となっています。桁行3間梁間2間の糧物には仁王尊像を祀っています。（県指定文化財・昭和49年指定）

